

## 伝統行事継承助成金交付要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、歴史的蓄積があり、福井県又は福井市の指定無形民俗文化財に準ずると認められる伝統行事を主催する団体、自治会、協会又はこれに類するもの（以下「伝統行事団体等」という。）に対して、その経費の一部を助成することにより、伝統行事の継承を支援することを目的とする。

### (対象者)

第2条 助成対象者は、次の各号に適合する伝統行事団体等とする。

- (1) 市内に所在し、かつ、活動の本拠を有するもの。
- (2) 一定の活動実績があり、広く市民に公開されているもの。
- (3) 規約等を有し、かつ、代表者が明らかなもの。

2 前項に規定する対象者の行う事業が次の各号のいずれかに該当するときは、助成の対象としないものとする。

- (1) 営利を目的とするもの。
- (2) 特定の政治活動又は宗教活動を目的とするもの。

### (対象事業)

第3条 助成対象事業は、伝統行事の後継者の育成事業を主体とする。

### (助成金の額)

第4条 助成金の額は、予算の範囲内で、助成対象事業に要する経費のうち理事長の定める額とし、年間10万円を限度とする。

2 助成対象経費は、助成対象事業を実施するために必要な報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、賃借料及びこれらに準ずる経費の合計額とする。

### (助成金の交付申請)

第5条 助成金の交付を受けようとする伝統行事団体等は、助成金交付申請書（様式第1号）に事業計画書（様式第2号）、収支予算書（様式第3号）及びその他参考となる資料を添えて、理事長に提出する。

### (助成金の交付決定)

第6条 理事長は、前条の規定による申請書の提出があった場合は、その内容を審査し、助成の適否及び助成額の交付を決定し、助成金交付決定通知書（様式第4号）を伝統行事団体等に送付する。

### (助成事業の変更・中止承認申請)

第7条 伝統行事団体等は、助成金の交付決定を受けた事業（以下「助成事業」という。）について、内容を著しく変更しようとするとき、または助成事業を中止しようとするときは、あらかじめ事業変更・中止承認申請書（様式第5号）を理事長に提出し、その承認を受けなければならない。

（実績の報告）

第8条 伝統行事団体等は、事業完了後速やかに事業完了報告書（様式第6号）に、事業実績書（様式7号）、収支決算書（様式第8号）、証拠書類の写し、印刷物及びその他写真等参考資料を添えて理事長に提出するものとする。

（助成金の額の確定）

第9条 理事長は前条の規定により事業完了報告書が提出されたときは、内容が適正かつ妥当であるかを審査し、適当と認めるものについては、助成金の額を確定するものとする。

2 理事長は、助成金の額を確定したときは、助成金額確定通知書（様式第9号）により、伝統行事団体等に通知するものとする。

（助成金の交付の請求）

第10条 前条第2項の規定により、助成金額確定通知書を受け取った伝統行事団体等は、速やかに請求書（様式第10号）を理事長に提出し、助成金の交付を請求しなければならない。

（助成金の返還）

第11条 理事長は、伝統行事団体等が次の各号のいずれかに該当するときは、助成金の交付の決定を取消し、又は既に交付した助成金の全部若しくは一部の返還を命ずることができる。

(1) 助成金を事業の目的以外に使用したとき。

(2) 事業の実施にあたって不正な行為があると認められるとき。

(3) 事業の実施について理事長が指示した事項に従わないとき。

（委任）

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は理事長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

(様式第1号)

平成 年 月 日

## 助成金交付申請書

財団法人歴史のみえるまちづくり協会  
理事長 様

所 在

申請者 団体名

代表者名 印  
(連絡先TEL )

平成 年度財団法人歴史のみえるまちづくり協会伝統行事継承助成金の交付を受けたいので下記のとおり関係書類を添えて申請します。

### 記

- 1 事業名
- 2 交付申請額 金 円
- 3 事業計画書 別添のとおり
- 4 収支予算書 //
- 5 団体規約等 //
- 6 参考資料 // (団体の活動状況を示すもの)

(様式第2号)

## 事業計画書

事業名	
趣旨	
実施予定日	自 平成 年 月 日 ( ) 時 ~ 時 至 平成 年 月 日 ( ) 時 ~ 時
会場	
主催者	
対象者及び入場料	
後援・共催・推薦・協賛団体名	
他からの補助、 助成の有無	無 ・ 有 (                      から                      千円の 補助・助成 あり)
事業内容	

(様式第3号)

## 収 支 予 算 書

### 1 収入の部

(単位・円)

科 目	予 算 額	算 出 基 礎
助 成 金		(財)歴史のみえるまちづくり協会からの助成
合 計		

### 2 支出の部

(単位・円)

科 目	予 算 額	算 出 基 礎
合 計		

※算出基礎は、単価、数量など詳細に記入のこと。

所 在  
申請者 団 体 名  
代表者名

平成 年 月 日付けで申請のあった  
事業に対する助成については、財団法人歴史のみえるまちづくり協会伝統行  
事継承助成金交付要綱第6条の規定により次のとおり交付することに決定し  
たので通知する。

平成 年 月 日

財団法人歴史のみえるまちづくり協会  
理 事 長

記

- 1 助成金の額 金 円
- 2 交付条件 交付要綱の遵守

特に、領収書等支払証拠書類の添付がない場合は  
それに相当する額を減額して交付する。

(様式第5号)

平成 年 月 日

## 事業変更・中止承認申請書

財団法人歴史のみえるまちづくり協会  
理事長 様

所 在

申請者 団体名

代表者名 印

(連絡先TEL )

平成 年 月 日付け歴協第 号で助成金の交付決定を受けた事業について、下記のとおり（変更・中止）したいので、承認して下さるよう申請します。

記

1 事業名

2 変更の理由

3 事業計画書(変更の場合) 別添のとおり

4 収支予算書(変更の場合) //

(様式第6号)

平成 年 月 日

## 事業完了報告書

財団法人歴史のみえるまちづくり協会  
理事長 様

所 在

申請者 団 体 名

代表者名 印  
(連絡先TEL )

平成 年度 財団法人歴史のみえるまちづくり協会伝統行事継承助成金の交付決定を受けた事業が完了したので、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

### 記

- 1 事業名
- 2 助成額 金 円
- 3 事業実績書 別添のとおり
- 4 収支決算書 //
- 5 その他参考資料 //

(様式第7号)

## 事業実績書

事業名	
趣旨	
実施日	自 平成 年 月 日 ( ) 時 ~ 時 至 平成 年 月 日 ( ) 時 ~ 時
会場	
主催者	
対象者及び入場料	
後援・共催・推薦・協賛団体名	
事業内容	

(様式第8号)

## 収 支 決 算 書

### 1 収入の部

(単位・円)

科 目	決 算 額	算 出 基 礎
助 成 金		(財)歴史のみえるまちづくり協会
合 計		

### 2 支出の部

(単位・円)

科 目	決 算 額	算 出 基 礎
合 計		

※ 算出基礎は、単価、数量など詳細に記入のうえ、領収書を添付のこと。

所在

申請者 団体名

代表者名

(連絡先TEL )

## 助成金額確定通知書

平成 年 月 日付けで交付の決定をした \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_事業に対する助成について、財団法人歴史のみえるまちづくり協会伝統  
行事継承助成金交付要綱第9条の規定により次のとおりその額を決定したの  
で通知する。

平成 年 月 日

財団法人歴史のみえるまちづくり協会  
理 事 長

記

- |   |       |   |   |
|---|-------|---|---|
| 1 | 交付決定額 | 金 | 円 |
| 2 | 交付確定額 | 金 | 円 |

(様式第10号)

平成 年 月 日

財団法人歴史のみえるまちづくり協会  
理事長 様

住 所

団 体 名

代表者名 印

### 請 求 書

平成 年 月 日付け歴協第 号で交付額の確定がありました、  
平成 年度財団法人歴史のみえるまちづくり協会伝統行事継承助成金を下  
記のとおり請求いたします。

記

請 求 額 円

振 込 先 口 座			
銀行名			
支店名			
預金種別	普通・当座	口座番号	
口座名義			